小松地区交流センター まんまる
komatsu community center
◆ホームページ：http://komatsu-manmaru.com/
◆フェイスブック・小松の最新情報を発信しています（小松地区交流センターで検索）

平成２８年２月号
小松地区地域振興協議会
☎：４２－６６８１
【まんまる通信・NO. 201602】

『グローバル人的交流と国際的視野を育む研修　in　台湾　』（過疎事業）

◎期日　１月２５日（月）～２８日（木）　　◎場所　台湾

【過疎事業で台湾研修へ！】
過疎事業の一環として１月 25 日～28 日の間、台湾に行ってまいりました。今回の台湾研修は、過疎事業の人材育成の一環として、置賜農業高校と国立台南大学付属級中学校との妹校締結式と青果市場の視察に同行し、またまちづくりの観点より台湾のまちなみを視察してまいりました。

≪置賜農業高等学校姉妹校締結式≫
置賜農業高等学校と国立台南大学附属級中学校による締結式では、両校の学校を紹介したのち、現在取り組んでいるプロジェクトについての発表もあり、互いに良い刺激を受けました。高校生同士は英語やスマートフォンの翻訳機能を駆使して交流を深めるなど、貴重な体験になったと思います。今回の締結式をきっかけに両校の交流が深まるとともに、次世代を担う若者達が国際的視野を育み、グローバル化時代に対応できる力を養うため、微力ながらサポートしていきたいと思います。

≪青果市場視察≫
台湾最大の青果市場『台北農産運銷股份卸市場』では、場内見学と運営会社の方による御市場の説明を聞き、最後に質疑応答の時間を設けていただきました。市場では日本の青果も数多く取り扱われており、旧正月の近いこの時期は特に青森県産のりんごは贈答品として重宝され、日本以上に高値で取引されていました。個人ではなかなか難しい海外進出も企業や団体、自治体が積極的にアピールすることで、国外に向けた新たな販路を確立できると感じました。

≪空き店舗再利用施設視察≫
台湾ではここ数年、戦前、戦後に建築された工場跡地や空きビルをリノベーション（改修）し、新たな観光地として蘇らせる取り組みが各地で盛んに行われております。今回の研修では、台南市と台北市それぞれの施設を視察しました。台湾のまちなかにはリノベーションされた建築物が多く残っており、思わず散策したくなるような景観が魅力的でした。特に、台北市にある『華山 1914 創意文化園区』は酒造工場をカフェやイベント会場など様々な用途で活用されており、老若男女幅広い世代の人々が集まれる場所となっていました。
川西町にある空き家や空き店舗も同じように低コストで改修し、「人々が集う場所」を増やしていけば、よりまちなかが活性化すると感じました。

今回の台湾研修で得た知識と刺激を今後の地域おこしにも活かしていきたいと思います！
なお、２/６発生しました『台湾南部大地震』で被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

【国立台南高大学付属級中学】で記念写真

姉妹校締結式の様子

観光地の店内の様子

置農生によるディスカッションの様子

商店街の様子

商店街の様子

【過疎事業　これまでの取り組み】（過疎事業）

今年度の過疎事業では情報発信、人材育成、まちづくり、交流それぞれの視点から様々な活動をしてまいりました。情報受発信では昨年度に引き続き、まちなか交流プラザ（旧ピッコロ）の３階を整備して、「まんまるスタジオ」を完成させました。現在は絵、押絵画展示や地域おこし協力隊員の情報発信スペースとして利用されています。人材育成では、前述の台湾研修を実施し、まちづくりでは「まちづくりフェスタ」や「歴史のまちづくり講座」といったワークショップを開催し、未来の川西町について熱い意見を交わしました。また、交流では９月に東京から参加者を募り田舎暮らしを体験していただき、12 月には高円寺で置農演劇部による食育ミュージカルの上演や紅大豆料理講習会などを実施し、都市と農村の交流を深めました。
本事業の活動内容、成果については３月６日に報告会を予定しておりますので、ぜひ会場にお越しください！（後日、新聞オリコミにてご案内させていただきます。）